令和7年度経営発達支援事業実績報告に対する評価

令和7年4月1日～令和8年3月31日

Ⅰ．経営発達支援事業の内容

支　援　内　容	評価
1．地域の経済動向調査に関すること	B
2．需要動向調査に関すること	C
3．経営状況の分析に関すること	A
4．事業計画策定支援に関すること	A
5．事業計画策定後の実施支援に関すること	A
6．新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	B
7．事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること	D
8．経営指導員等の資質向上等に関すること	B

評価基準	A：目標を達成することができた（100%以上） B：目標を概ね達成することができた（80～99%） C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30～79%） D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

商工会 経営発達支援事業評価委員会

会議情報

- **日時**：7 月 6 日（月）
- **参加者**：（商工会担当者、評価委員、会長、事務局長、中東濃支援室長）

要約

商工会の経営発達支援事業評価委員会にて、第 9 回経営発達支援計画の実施状況と実績報告が行われました。地域経済動向調査、需要動向調査、経営状況分析、事業計画策定支援など 8 項目について前年度の実績が報告され、特に空き店舗を活用したシフォンケーキ店の創業・伴走支援事例が詳細に共有されました。委員からは、景気動向調査アンケートの回収率向上策（LINE 活用やインセンティブ付与）や、事業者のブランディング・マーケティングに対する専門家を交えた支援の必要性について、活発な意見交換が行われました。

議事内容

経営発達支援計画の概要

- 小規模事業者を継続的に伴走支援するための仕組みであり、経済産業大臣の認定を受けた事業計画である。
- 現在は第 9 回計画（令和 4 年～令和 9 年 3 月 31 日）の期間中であり、本年は更新の年に当たる。
- 計画の目標は、1.小規模事業者の経営力強化、2.経営資源・地域の強みを活用した販路開拓支援、3.小規模事業者の新陳代謝の促進の 3 点である。
- 事業内容は、地域経済動向調査、需要動向調査、経営状況分析、事業計画策定支援など 8 項目で構成されている。

実施状況・実績報告（8 項目）

- 地域経済動向調査：地域経済動向調査レポートを年 4 回発行し、会報への同封や HP への掲載を実施した。また、12 月に景気動向調査を実施した。
- 需要動向調査：ねんりんピック岐阜の会場にて新商品ニーズのアンケート調査を実施したほか、加茂地区の指導員部会にて新商品（豆乳パッケージ改良等）のモニターアンケートを実施した。
- 経営状況分析：補助金申請、金融斡旋、経営計画策定などに伴い、計 15 件の分析を実施した。

- 事業計画策定支援：補助金申請、経営改善、創業融資などに伴い、計 10 件の策定支援を実施した。
- 事業計画策定後の実施支援：補助事業計画の実施支援など、計 7 件を実施した。
- 新たな需要開拓支援：展示会・商談会（ねんりんピック岐阜、夏祭りなど）への出展支援、SNS・HP 作成支援、プレスリリース支援を実施した。
- 事業評価・見直し：外部有識者を交えた評価検証を前年 7 月 1 日に開催し、結果を HP に掲載した。
- 指導員等の資質向上：中小企業大学校での AI 活用研修、OJT、ウェブセミナー受講のほか、令和 6 年度より経営支援システムを導入し、全職員での情報共有体制を構築した。質疑応答・意見交換
- 景気動向調査の回収率向上について、LINE の活用、決算指導時の聞き取り、全会員への QR コード配布、回答者へのインセンティブ（抽選でシフォンケーキプレゼントなど）の導入が提案された。
- 新商品開発・販路開拓について、展示会への出展だけでなく、各種コンテストや賞への応募を推奨する意見が出された。
- 事業者のブランディング支援について、専門家を交えたマーケティング支援の必要性が指摘された（例：ターゲットやコンセプトを明確に絞ったスフレ専門店の成功事例の紹介）。
- 評価・報告のあり方について、単年の実績だけでなく、複数年の達成推移がひと目でわかる一覧表などの資料作成が提案された。

委員からのコメント等

1. 景気動向調査の回収率向上に向け、デジタルツール（LINE、QR コード）の活用や回答者へのインセンティブ付与を検討する。
2. 事業者のブランディングやマーケティングにおいて、専門家を交えたより深い支援を実施していく。
3. 次回の評価委員会等に向けて、複数年の実績推移が比較できる評価資料を作成する。